

至誠館大学

科目名	地域福祉論Ⅰ			コード	1531	
英語表記						
担当教員名	今川 元治			年度	平成28年度	
基準年次	3年次	開講期	前期	単位数	2	
授業形態		授業形式	講義	履修形態	社会福祉	
授業概要						
地域福祉の基本的考え方(人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等を含む。)について理解する。						
地域福祉の主体と対象について理解する。						
地域福祉に係る組織・団体及び専門職の役割と実際について理解する						
到達目標						
地域福祉の基本的考え方(人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等を含む。)について理解する。						
地域福祉の主体と対象について理解する。						
地域福祉に係る組織・団体及び専門職の役割と実際について理解する						
授業計画						
第1回	オリエンテーション 地域福祉を学ぶ意義について					
第2回	地域福祉の基本的考え方Ⅰ 地域福祉の概念と範囲について					
第3回	地域福祉の基本的考え方Ⅱ 地域福祉における人権尊重、自立支援					
第4回	地域福祉の基本的考え方Ⅲ 地域福祉における住民参加の推進とその意義					
第5回	地域福祉の理論と歴史Ⅰ イギリスの地域福祉の歴史的展開と理論の発展					
第6回	地域福祉の理論と歴史Ⅱ アメリカの地域福祉の歴史的展開と理論の発展					
第7回	地域福祉の理論と歴史Ⅲ 日本の地域福祉の歴史的展開と理論の発展					
第8回	地域福祉の主体と対象Ⅰ 地域福祉の主体としてのボランティア活動					
第9回	地域福祉の主体と対象Ⅱ 地域福祉の主体としての福祉教育					
第10回	地域福祉に係る組織・団体Ⅰ 地方分権化と地方自治体の役割					
第11回	地域福祉に係る組織・団体Ⅱ 社会福祉協議会の役割と実際					
第12回	地域福祉に係る組織・団体Ⅲ 社会福祉協議会の役割と実際					
第13回	地域福祉に係る専門職の役割Ⅰ コミュニティーソーシャルワーカーの役割と多職種連携					
第14回	地域福祉に係る専門職の役割Ⅱ 住民参加のまちづくりにおける専門職の役割					
第15回	まとめ 地域福祉論Ⅰのまとめ					
評価方法と基準		評価項目と割合(%)				
出席状況とレポート、期末試験をあわせて総合的に評価を行う。		出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
授業外学習		テキスト、教材				
		新・社会福祉士養成講座「第9巻 地域福祉の理論と方法」中央法規出版				
		適宜参考資料等も配布する。				
参考書		受講生へのメッセージ				
授業の中で紹介する。						
キーワード						